

# 「川上小学校で新年暗唱大会が行われました」

令和6年1月10日（水）、1月11日（木）、1月12日（金）の3日間にわたって川上小学校で全校児童対象の「新年暗唱大会」が行われ、延べ32名の地域の方が審査員として参加されました。

この行事のねらいは、「児童が毎日行っている音読自宅学習の節目として、冬休みに音読・暗唱した短文（詩、百人一首、俳句等）を地域の方に聴いていただき褒めていただくことで、音読という日々の基礎的学習の励みや動機づけにすると同時に児童の学習への意欲向上や頑張ったことへの達成感や自信、自己肯定感の向上を図る。」ということでした。



子どもたちは審査員の方に教科書を渡して暗唱する所を示し、大きな声で「よろしくお願いします。」と言ってお辞儀をしてから暗唱を行いました。

審査員の方は「上手に暗唱できたね。」「さすがだね。合格です。」「頑張って最後まで言えたね。」と褒めたり、暗唱できなかった子どもに「とても惜しかったよ。」「もう少しで暗唱できるよ。」と励ましの言葉をかけたり、支持的・受容的な態度で暗唱を聴かれています。審査員の方の励ましの言葉を聞いて、廊下などで一生懸命練習を行ってから再度暗唱にチャレンジをする子どももいました。

（審査員の方は支持的・受容的な態度で子どもたちの暗唱を聴かれています）



子どもたちの感想に「最初は、とても緊張していたけど、やさしく聞いていただいたのでとても安心して暗唱できました。暗唱大会に来てくださった地域の方ありがとうございました。」「今日、暗唱大会で地域の人に全部言えて良かったし、褒めてもらったのでうれしかったです。また、地域の人といろいろな勉強をしたいと思いました。」「家で夜、一生懸命練習したけど、全部覚えきれなかったのが悔しかったです。でも、新年のチャレンジとしてとてもいい体験になりました。」などがありました。

川上小学校で行われた「新年暗唱大会」には、地域の方が審査員として大勢参加されていました。子どもたちは審査員の方の温かい励ましや承認（褒め）の言葉を聞いて、意欲や自信を高めることができたと思います。また、地域と連携・協働したことで、子どもたちにとってより効果的な学びの機会になったと思います。